



ぼらんていあ通信

10月号
通巻 No.455

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2019年10月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

第37回市民福祉の集い おめでとう ございます!

社会福祉功労者として
地域において福祉活動な
どを積極的に実践してい
る方に贈られる賞をボラ
ンティア協会が推薦した
お一人の方が受賞、表彰
されました。

〇口 健三



上溝にお住まい
の吉留さんはハン
ディキャブの運転
ボランティアとし
て協会に入られ
2013年度から



前年度まで理事として、また副会長として
も多忙に活動されて来られました。定年退職を
きっかけに興味の絵と旅行そしてボランテ
ィア活動の三つをセカンドライフとして構
築され、実行しておられます。趣味の絵で
は年に1度お仲間と「仲間展」を開催。絵
のお仲間の中には協会の杉本理事もおられ
10年以上のお付き合いが。ボランティア
をするのは「皆さんの役に立てれば良い
という心構えです」と、また「今後の協会
の課題はボランティアの若返りですね」と
も。感銘に助けられて今日「」までやっ
て来られました」と穏やかに受賞の感想を
語られました。

〇口 健三



御園にお住ま
いの白倉さんは
奥様も会員で白
倉さんはハンデ
ィキャブの運転
ボランティアと

して、奥様は介助ボランティアとしてカッ
プルで活動中。「僕の奥さんは看護師なの
で、僕がボラ活動に誘いました」と笑顔で
話される。ボランティアを始めたきっかけ
は、県職員の時課せられたボランティア
研修会でハンディキャブ運転ボランティア
があるのを知り、協会(当時)「いるかバ
ンク」を探し出し、土曜日を活動日に当
て、一足の草鞋の活動を始められた由。70
歳になって勤務が週3日となったので平
日も活動が可能となったとか。大野南公民
館では、スポーツ推進委員の経験や保健体
育委員を務め、公民館活動ではファミリー
バトミントンの審判をされているスポー
ツマン。協会への課題はやはりハンディキ
ャブ運転の高齢者対策と語られました。

市民会館ロビーの表彰式前のさわさわ
とした中で、スーツ姿のお一人にお話を伺
いました。今後の更なる活躍をお願い
いたします。

(小林)



ご報告

ほかほかふれあいフェスタ2019
今年は開催中止となりました

実行委員長 高橋功

ほかほかふれあいフェスタ2019実行委
員会は、10月10日に緊急幹事会を開き12日
のフェスタ開催中止を決定した。理由として
は、台風15号が房総半島を直撃し千葉地区に
大きな被害をもたらした事、さらに、台風19号
は15日よりも強烈な関東地区を直撃し上陸の
可能性が強いとの予報でもあり、来場される
皆さんやボランティアの安全と安心の為に止
むを得ない決断だったと思います。

今年のほかほかふれ2019は従来と違い、ふ
れあい広場では長く続いたMUSICに代わり
2020年のパプリックに採用されたボ
ッチャや輪投げ、魚釣の等々、趣回を凝らし
広場部会の皆さんは相当気合が入っていたと
思います。あじさい会館ホールではこの2年
映画の上映を主としてきましたが、今回は手
話ダンス、コーラス、エレキギターとカホン
等々4団体の出演を予定していました。さら
に市障害政策課、社会福祉協議会中央ボラン
ティアセンターのご協力や、広報についても
パンフレットの枚数を増やし広範囲へのPR
を実施し、どの部門でも力がはいっていた様
に思います。

このような形で中止となりましたが、12月
3日から始まる障害者週間(12月3日~9日)
に合わせたキャンペーンがサンデック相模大
次ページに続く



あじさい会館1階に展示した
参加団体のPRパネルです。

*ほかほかふれあいフェスタ2019障害者週間
キャンペーンの詳細はP6に掲載しています。



野(小田急線相模大野駅北口)で11月30日(土)に開催されます。是非皆さんのご協力で障がい者へのご理解ご協力についてのPR活動をしていきたいと思っています。勿論、来年はほかほかふれあいフェスタ2020を盛大に開催できることを祈念します。

最後になりますが台風19号で被害にあわれた方々に対し心からお悔やみ申し上げます。どこにもお見舞い申し上げます。

コース別講座が始まっています！

9月27日(金)午後1時半～3時半

市民会館2階 第2中会議室

*講師

認知症の方への接し方(認知症サポーター講座)

*講師 光が丘高齢者支援センター

大谷尚功先生 作山麻須美先生

今年度からコース別講座に新しく加わった傾聴ボランティア講座です。第1回、第2回は荒木乳根子先生を講師に傾聴を学ぶ講義。第3回目は今日は講師に光が丘高齢者支援センターのお二人をお迎えし認知症とは何か、そして認知症の人への接し方を学び、認知症サポーターとは何かを知る。受講生は12名、渡邊さんの司会で始まる。

前半は、パワーポイントを使って大谷先生の講義。

- 1、認知症を正しく知る。
- 2、認知症になった人、その家族を正しく理解する。
- 3、認知症になった人への正しい接し方。
- 4、そして、認知症サポーターになるための正しい心掛けを持つ。

つまり認知症とは高齢になって様々な原因で脳の細胞が損傷を受け、働きが悪くなるために記憶力や判断力が低下し日常生活に支障が出ている状態をいう。また大事なものは脳のどこの機能が衰えるかにより、出てくる認知症の症状も様々であるということ。典型的なのが脳の神経細胞が徐々に減少していき脳が萎縮し、もの忘れから始まりの



講師のお二人、光が丘高齢者支援センターの作山さん(左)と大谷さん。



つくりと進行するアルツハイマー型認知症であり、四大認知症の一つで全体の6割を占めている。高齢者だけでなく、65歳未満で認知症を発症する若年性認知症というものもある。

後半は作山先生の指導で、受講生を3つに分けてのグループワーク。まず始めに第1回目、2回目で学んだ傾聴の実践練習で気持ちをほぐし、その後グループ毎に違う課題が渡され、認知症の人への対応について討議し、グループの代表者による発表が行われた。3グループとも学んだ結果がきちんと出て、作山先生から「素晴らしい！」の言葉を頂いた。みなさん、凄いです。

最後に認知症サポーター(認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を見守る応援者)の大事な心構えとなる次の2つのポイントを学んだ。

ポイント1、「4つのない」

- ① 大きな声で話しかけびっくさせない。
- ② 早く早くといそがせたりしない。
- ③ 自尊心を傷つけない。
- ④ 頭から否定しない。



あざやかなオレンジ色。プレスレットには、アルファベットで「Ninchisho Supporter」と刻印してある。

- ① まずは見かける。
- ② 自然な笑顔で余裕のある対応をする。
- ③ 声をかけるときは一人で。取り囲まない。
- ④ 後ろから声をかけない。唐突な話もダメ。
- ⑤ 視線を合わせ優しい口調で。大声はダメ。
- ⑥ 穏やかにはっきりとした滑舌で話す。
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する。同時に複数の質問をしない。

「これらの心構えを学んだ受講生の皆さんは今日から認知症サポーターとなり、オレンジリング(写真参照)をお土産に持ち帰られた。

(小林)

事業所訪問記



猫の形の可愛い木ハガキを発見！
「ウディーショップ きこり」



残雪が残る風下がり、我が家から程近い共和3丁目にある「ウディーショップ きこり」を三十尾さんと訪ねました。ここは障害福祉



「きこり」の看板がある玄関

サービス事業所で「特定非営利活動法人きこり」(以後きこりさんと呼びます)です。きこりさんで作る製品はあじさい会館の1階にある「ハンドメイドショップ バオバブ」にも売っています。色んな動物、植物の形をした木のハガキを見つけました。120円切手を貼れば出せます。これも、とてもデザインがシンプルで、素敵なのです。「きこり」とサインがありますからすぐ分かります。

約束の時間にきこりさんの玄関のドアをノックするとメンバーの渡辺さんと佐藤さんの二人が温かいお迎えをしてくれました。生活支援員の森田大樹(ひろき)さんの案内で製作した作品を販売しているショップに通ってお話を伺いました。

地域作業所として設立し、「きこり」のスタートは昭和62年で32年の歴史があります。以前は相生にありましたがここに移転して4年目の所です。現在メンバーは14名、スタッフは14名です。障がいを持ったメンバーが自由に製作活動をする(楽)生活をする(豊)地域活動で社会参加(生きいき)ことを大切にして活動している通所施設です。

製作活動では、糸ノコ

ギリを自由に駆使して動物を可愛くかたどって作る木のハガキやパズル、マグネットなどの木工製品。またバッグや袋物、小物などの布製品の作品もあり、メンバーがデザインし、製作します。「ひとりの個性に合わせ、また個性を大事にして作業を進めて行きます」と森田さんのお話です。

生活を楽しむ活動は、毎回お楽しみになっている外出や余暇活動です。山梨県の笛吹川に行ったり、スポーツとしてヨガ、プールにも出かけ、クッキー作りも。ハンドベルを鳴らして音楽活動も楽しみます。夏休みには北里大学の学生さんが実習にきます。社会に参加し役に立つ地域活動の一つとして駅の落書き消しや清掃のボランティアをします。毎月第1土曜日には事業所の玄関前の広いスペースを利用して「あおぞら市」を開き、商品を売るだけでなく近所の方やメンバーの保護者の方たちとの交流の場とします。10時から14時半の間です。



糸のこで木ハガキを作る渡辺さん



(左端)施設長小野さん、森田さん(前列右)

今度JR横浜線の淵野辺駅で「手作りマルシェフェスティバル in 淵野辺」が開催されます。きこりさんも北口オーロラデッキ2階にブースを出店します。メンバーもスタッフも皆んな楽しみにし

ています(開催日は10月20日なのですがこれを讀んでもらえる頃は終わった後のので残念です)。きこりさんの来年のカレンダーができて来たというので見せてもらいました。メンバーの自由な楽しい豊かな心が各月の絵の中に溢れていました。情報誌わくわくの表紙を飾っているものカレンダーです。プレゼントに頂き感謝です！
有難うございます。
(小林・三十尾)



120円切手を貼ってポストに投函



*通所施設 ウディーショップきこり
〒252-0234
相模原市中央区共和3-5-6
電話 042-752-8266
e-mail info@npokikori.com

クイズに挑戦

漢字クイズ第2弾！ 常用漢字ですが何個読めるでしょうか？

- ① 訃報
- ② 咽喉
- ③ 愛猫
- ④ 拾得
- ⑤ 適
- ⑥ 沖する
- ⑦ 素封家
- ⑧ 手風琴
- ⑨ 虞
- ⑩ 陵

クイズの答え

- ① けつぱう
- ② せんとく
- ③ あいびん
- ④ かいだい (預かった金品を持ち逃げする)
- ⑤ したる
- ⑥ せふけい (高)
- ⑦ そとつか (金持)
- ⑧ へんしん (変)
- ⑨ ぶつ (天)
- ⑩ たらき (天)



皇太子は三皇の皇

相模原ボランティア協会 11月の予定

日	時間	内容
2(土)	10:00~	総合企画委員会
9(土)	10:00~	定例理事会
11(月)	16:00~	幸せの黄色いレシートキャンペーン
16(土)	13:00~	事務局委員会
18(月)	13:00~	ぼら通11月号印刷
19(火)	13:00~	ぼら通11月号発行
22(金)	13:00~	広報委員会ぼら通部会
23(土)	10:00~	ハンディキャブ委員会

お見舞い申し上げます

この度の台風15号、19号で被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

相模原市でも緑区を中心に各地で、これまでに経験のないような土砂災害等が発生しました。

これから寒さも段々厳しくなってまいりますので、くれぐれもご自愛ください。

NPO 法人 相模原ボランティア協会

あー、ほんぞう？

少し前までは、完全な樹上生活者だと考えられていたオランウータン。その彼らが地上に降り立つ場所があるそうだ。ボルネオ島の深いジャングルの中の10畳ほどの小さな塩場（塩水が湧く場所）。
果物が主食のため、体内にカリウムが多量に蓄積していく。その排出のために塩水を飲みこむ。特に強いオスは塩水を飲んで満足そうに休憩し、樹上へと帰っていくそうだ。
*ナショナルジオグラフィック10月号より



11月の記念日は？

小倉義男

11月17日、将棋の日です。
江戸時代、将棋好きであった徳川吉宗が毎年旧暦11月17日を「御城将棋の日」とし、御城将棋をさせていたことに由来。日本将棋連盟が1975年に制定。将棋では一番弱い「歩」が相手陣地まで入り込むと「と金」として「金」と同じ強さになるというのが面白さの肝ですかね。



小倉画

理事会報告

10月19日(土) 定例理事会(理事7名出席)

一 報告事項

◆ 広報委員会

・ほかほかふれあいフェスタ開催の中止をホームページへアップすることを検討。

・10月26日にわくわく秋号の製本・発行。

◆ 講座検討委員会

・来年の講座内容を検討。

◆ HC委員会

・日本財団への助成申請状況報告。

・福祉連送更新に伴う書面整理。

◆ 事務局委員会

・ハンディキャブ利用会員の現状確認。

◆ 傾聴委員会

・コース別講座の内容確認。

◆ 総合企画委員会

・地域のネットワーク作りを検討。

◆ その他

・10月1日に右関理事が地域福祉推進協議会に出席。

・10月24日にはかふれフェスタの幹事会を実施予定。

二 審議事項

・来年度の通常総会の日程を2020年5月17日に決定。

・今年度のボウリング大会を2020年2月15日に実施予定。

・緑区の3カ所に先の台風19号に関する災害ボランティアセンターが立ち上がった。現状ボランティア協会の依頼はないが、ホームページへ関連記事のアップを検討。

次回理事会 11月9日(土) 10時より





ボランティアさん募集!

高齢者施設での将棋のお相手

内容 男性(68歳)の将棋のお相手ボランティア

日時 月1回~

※月曜の午後以外であればボランティアさんの
ご都合のよい曜日・時間で構いません

※お車で来所希望の場合は、事前にお知らせ下さい

場所 グループホームまごころホーム淵野辺(中央区淵野辺4-1-19-2)

*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話 042(786)6181

災害ボランティアを募集しています

相模原市緑区で発生した台風被害のため、ボランティア協会でも災害ボランティアを募ります。

詳細は相模原市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

参加して頂ける方はボラ協事務局までご連絡ください。

相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話 042(759)7982

ダンスや演奏など楽しい
イベントが盛りだくさん

ほかほかふれあいフェスタ2019 障害者週間キャンペーン

日時: 2019年11月30日(土)

12:00~15:00

場所: サンデッキ相模大野

(相模大野驛北口)

催し: 障がい者理解のためのパネル展示と
チラシの配布

イベント: 大道芸、よさこいソーラン、
車いすダンス、バンド演奏など



《今月のイラスト
...食欲の秋到来!》

ひとりでも多くの方
の参加をよろしく
お願いします!



ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ
大切にさせていただきまます。

<9月の寄付者>

3名の方からご寄付をいただきました。

<9月の寄付金>

総額 8,700円でした。

編集後記

暑い、寒さも彼岸までと言わ
れています。今年はいつまで
も、暑さが続きました。
10月10日まで半袖で過し
ました。

私事ですが、毎朝6時起床し
気温を2ヶ所所で測定し、日記に
記録しています。10日の朝の気
温は14度でした。調べてみた
ら、5月15日以来です。

12月からの冬も暖かい日が続
きますように思います。一日でし
た。(勝)